



「第42回組織集会」を開催

交渉力の強化と次世代を担う役員育成を目的に

地連活動の強化、各区・一組交渉の強化を

2017年6月18日(日)〜19(月)にかけて箱根路開雲に於いて第42回組織集会を開催してきました。全国的な現業職場の切り捨てが進むなか、わが東京清掃労働組合には、23区の清掃事業を良質な公共サービスとして守っていく責任があります。社会的労働運動を普及し、良質な公共サービスとしての清掃事業を維持するためにも、作業計画をはじめとする様々な交渉を通して、必要な人員・機材の確保を勝ち取っていかねばなりません。地域の公共サービスに携わる清掃労働者として、持続可能な地域社会の実現を目指し取り組んでいきましょう！

集会は組織・共闘担当と、今組織集会における目的を話し合いました。引き続き、倉貫常任中央執行委員の調起では、中里副委員長主権者を代表して桐田中央より、「組織力・交渉力の強化や今後の清掃事業のあり方、組合役員の育成、地

域に根ざした労働運動、要求実現を目指す取組み」について、詳細に提起がされました。その後、組織・共闘担当の野崎常任中央執行委員より、集会の進め方とグループ討議の進め方とが話されました。その後、今、第42回組織集会の一つの目的であり、「交渉力の強化」として、途中に昼食休憩を挟みながら、常任中央執行委員による模擬団体交渉を実施しました。パネリストに坂本副中央執行委員長と、わが組合の顧問弁護士である細川さんを迎え、交渉にあたって抑えておくべき法的な根拠等について丁寧に解説を頂きました。会場からも、普段の組合活動や当局との交渉などで疑問に感じていたことや、模擬団体交渉を通してうえでの疑問等、多くの質問や意見が出され、活発な討論がなされました。また、模擬団体交渉に配役された常任中央執行委員は、打ち合わせにはない熱のこもったアドリブで

その後のグループ討議では、各支部の日常的な組合活動を報告し合い、様々な創意工夫で克服していることが多く、参考になりました。また、2日目の午後は、各グループから具体的な議論の報告や情報共有がなされました。今回の組織集会での議論は、地連活動の強化、各区・一組交渉の強化をはかること、次世代を担う役員育成を目的として、「わが組合は単一労働組合として、複数の自治体を横断する組織のネットワークを最

23区の清掃事業を守り維持し、人員・機材の確保を勝ち取る

(渡辺 歩)

東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円
編集責任 企画・総務 多田修一

- わが組合の綱領
- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
 - 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
 - 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

第20回ボウリング大会を開催 (18チーム72名参加)

順位	氏名	支部	総得点
1	石田 健太郎	玉川	345
2	石橋 比呂志	渋谷	333
3	矢野 雄二郎	目黒	333
4	福岡 啓治	北	322
5	菊池 順一	中野	307
6	岩井 良祐	千代田	300
7	小島 正徳	板橋東	300
8	中村 友哉	江戸川	299
9	橋本 達也	砧	297
10	実方 幸雄	北	297

順位	氏名	総得点
1	第三地連Aチーム	1192
2	第二地連Aチーム	1184
3	第三地連Cチーム	1143
4	第五地連Cチーム	1142
5	第四地連Bチーム	1098



優勝した第三地連Aチーム
6月24日東京ドームボウリングセンターにおいて、第20回ボウリング大会が開催されました。青年部・退職者会をはじめとした、各地連の予選を経て選出された18チーム72名による熱戦のゲームを制したのは、2チーム合計345点を叩き出した玉川支部の石田健太郎さんでした。チーム戦は、個人優勝の石田さんと前年度優勝者の石橋さんを有する第三地連Aチームが優勝。僅か8点の差で第二地連Aチームが準優勝、続いて第三地連Cチームが三位を獲得しました。



個人戦優勝の石田さん

した、ゲーム終了後、熱戦の余韻さめやらぬなかSKホールに移動して表彰式を交えた懇親会を行い、地連の垣根をこえて親睦を深めることができました。来年度、第21回大会に向けてさらに腕を磨いて盛り上げていきましょう。



好プレーにはハイタッチ

東京清掃 緊急学習会「共謀罪の危険性」を開催

弾圧に負けない強い労働運動を全員で確認



緊急学習会に94名が参加「共謀罪」について恐るしさを知る

6月1日指宿昭一弁護士をお迎えして、緊急学習会を開催しました。当日は緊急にもかかわらず、94名もの参加があり関心の高さが伺えました。

今まで何度も阻止されてきた「共謀罪」ですが、今回は巧妙に情報操作がされています。政府は「テロ等準備罪」と言い方を変えたりしていますが、条文を見る限りテロリズム集団というのはいかに過ぎません。

「組織的犯罪集団」が対象となつていますが、誰しもが「組織的犯罪集団」にされかねない危うさを秘めています。また、処罰条件である「準備行為」の範囲の



共謀罪法案廃案!緊急学習会
講師:指宿昭一弁護士、2017年
東京清掃労働組合

指宿昭一弁護士をお迎えして緊急学習会

思いますので多くのご参加をお願いいたします。

「追記」
6月15日残念ながら「共謀罪」の趣旨を含む組織的犯罪処罰法改正案は「中間報告」で成立を強行されました。政府与党の横暴がいつまで続くのかと怒りを覚えますが、団結の力でさらに労働運動を前進させて行きたいと思えます。組合員の皆さん!ともがらばり習会を企画して行きたくましよう。(多田書記次長)

強行採決が常識のように頻発する中で、仮に共謀罪が成立しても、いきなり踏み込んだ弾圧が行われていくわけではありません。不当な弾圧を一つ一つ跳ね返していく闘いが重要となります。あわせて、他の組合や市民団体が弾圧されているときに支援連帯していくという闘いが本場に求められてきます。



夜景をバックに全員が記念撮影(5月19日(金)ワイルドマジック豊洲にて)

共謀罪の成立阻止と、万が一成立してもそれを跳ね飛ばして、弾圧に負けない強い労働運動をつくっていくという事を参加者全員で確認して閉会となりました。

本学習会以降、多くの組合員から「良かった」との感想をいただきました。今後も皆さんのためになる学習会を企画して行きたくましよう。(多田書記次長)

「一組主催」ナイトバーベキューに青年部が参加

職種が違っても青年層が抱えている不満や不安は共通している

5月19日(金)に「一組主催」ナイトバーベキュー

に本部青年部4名で参加してきました。

新規採用があり若い人が入っているが、何かその人達

が「行政職や工場では

は、職種が違っても青年層が抱えている不満や不安に思っていることは共通しているのだと分かりました。

昨年開催された組織集會において青年部報告を行う中で、青年層の抱えている課題や不満、活動報告、仲間づくりの必要性等話し

向けて青年部が取り組んでいる事はあるのか?」

まず始めに思ったことは

したが今回の交流を通じ、これからの青年活動の活性化の為に一組の仲間と横のつながりを強化してきたいと思えます。

間づくりの必要性等話し

何ができるのかを中里副執行委員長と話し合い、今回の交流を通じて感じたこと

一組には若い人いるのだと感じました。そして参加者と交流する中で、普段どういった仕事をしているのか、また職場に不満や不安に思っていることはないのか等

青年部からだけでなく、基本組織からも青年層への声かけをお願いします。(青年部長 高木陽介)

「工場あつての現場、現場あつての工場」その気持ちを大切に

一組の方々のご厚意で、5月19日(金)にワイルドマジック豊洲にてナイトバーベキューに参加させて頂きました。

開催する前に中里副委員長から一組の実情などを簡単に説明して頂いた。いかに知識不足なのか思い知らされました。

相互を知るといふ事は大切

てお互いに変化だからこそ、意思疎通を図り進んでいくべきだと思います。「工場あつての現場、現場あつての工場」その気持ちを大切に今後も皆さんと活動に取り組みしていきたいと思えます。

開催する前に中里副委員長から一組の実情などを簡単に説明して頂いた。いかに知識不足なのか思い知らされました。

持って勉強していきたいの

は、職種が違っても青年層が抱えている不満や不安に思っていることは共通しているのだと分かりました。

は、職種が違っても青年層が抱えている不満や不安に思っていることは共通しているのだと分かりました。

持って勉強していきたいの

持って勉強していきたいの

持って勉強していきたいの

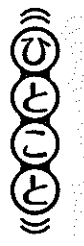
持って勉強していきたいの

持って勉強していきたいの

持って勉強していきたいの

持って勉強していきたいの

持って勉強していきたいの



信があるのか、安倍一強時代のやりたい放題という印象が強い。

「組織的犯罪集団」として、一般市民は対象にならないと言っているが、では、いったい誰が「組織的犯罪集団」と決めるのか、捜査当局の恣意的な運用で一般市民が「組織的犯罪集団」の一員となる危険性はあるのではないだろうか。さらに、「組織的犯罪集団」と立証する

ためには、証拠がなければならぬ。そのためには、盗聴や監視、密告が横行するのではないだろうか。さらには、私たちが日々国の監視体制の中で生きていかなければならない。そんな世の中が近い将来くるのかと思ふところである。

(江東区担当 中央執行委員 田口康乗)

(青年部 高野飛鳥)